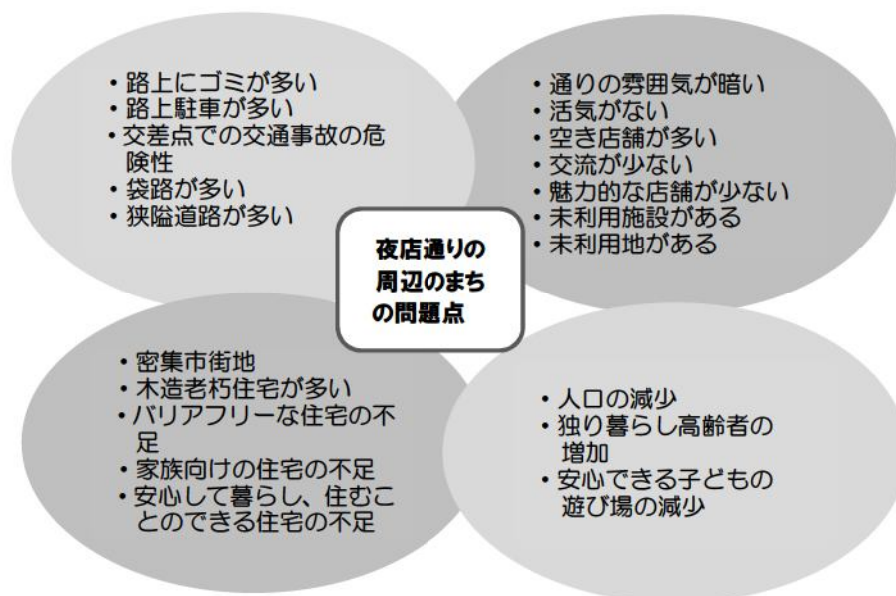


## 夜店通り周辺まちづくり構想

“通称夜店通り”の沿道地区。かつて靴と皮革の街として賑わった鶴見橋商店街と共に活力を誇っていましたが、活力を失うと同時に、住環境や道路環境など、多くの課題を残していました。

鶴見橋中学校の西側を南北に走る幅員約4メートルの道路に沿う、西成区南開2丁目、出城3丁目、長橋3丁目、鶴見橋3丁目に至るところを、“通称夜店通り”沿道地区といわれています。夜店通りの周辺地域は、かつて靴と皮革の街として賑わった鶴見橋商店街と共に活力を誇っていましたが、商店街の衰えにあわせて活力を失うと同時に、住環境や道路環境などでも、多くの課題を残していました。



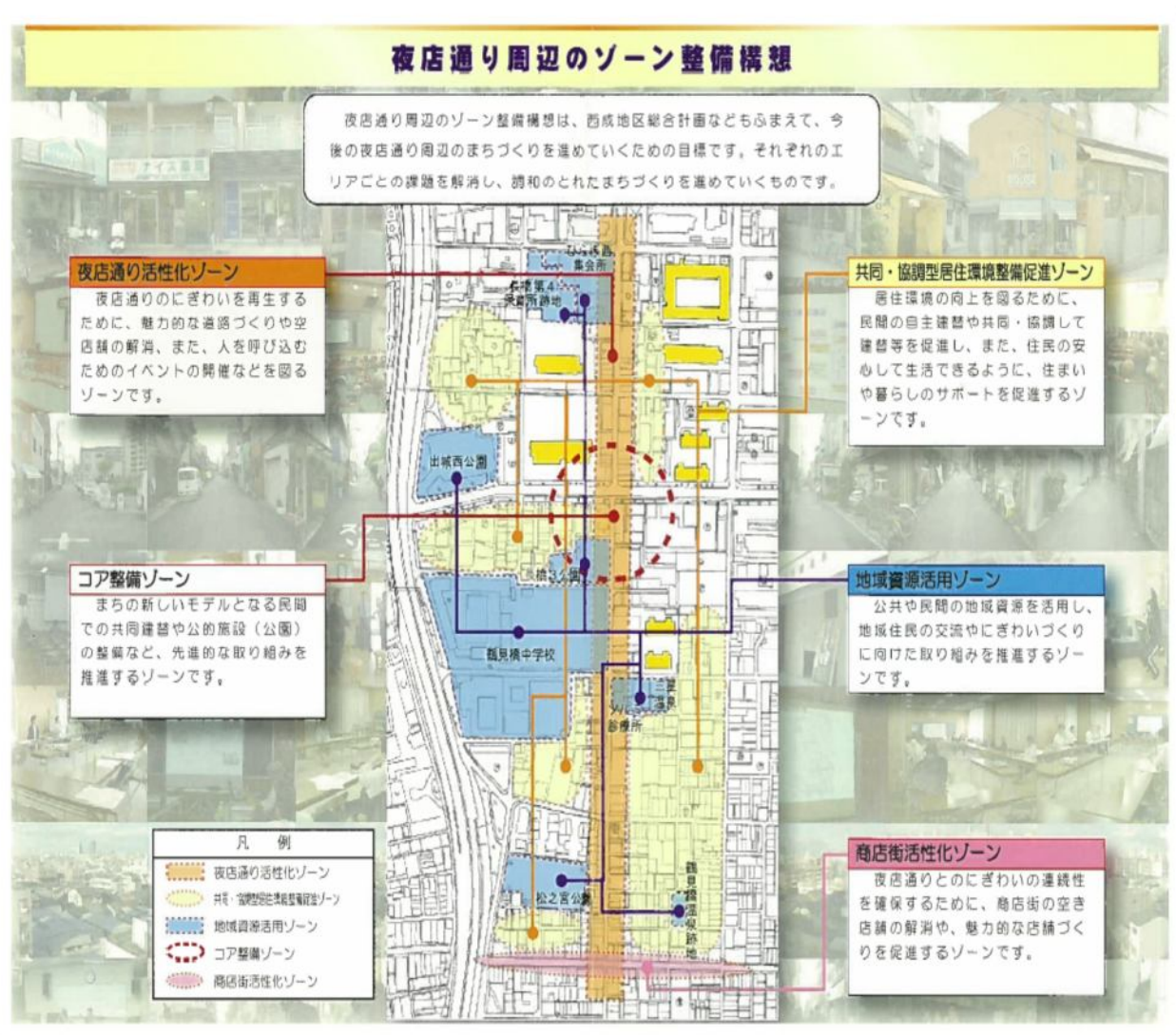
その一方では、住宅地区改理事業が終了したほか、民間老朽住宅の共同建替や公有地を活用した定期借地権付きコーポラティブハウス住宅（ハーモニービレッジ）の建設などが実現し、公と民が連携したまちづくりも進展してきました。また、ひらき集会所前広場での祭りや、鶴見橋温泉跡地での映画鑑賞会、三星温泉のサロンを活用した健康づくりの取り組みなど、住民同士のつながりづくりも行われてきました。



そこで、まちのにぎわい再生のために2002年から、大阪市まちづくり活動支援制度を利用して『夜店通りまちづくり研究会』を立ち上げ、5つの整備ゾーンを設定した夜店通り周辺まちづくり整備構想を策定しました。

にぎわいのある元気なまちづくりをめざし、「夜店通り周辺まちづくり整備構想」が策定されました。夜店通りのまちづくりは、まちのにぎわい再生のために2002年から、大阪市まちづくり活動支援制度を利用して『夜店通りまちづくり研究会』を立ち上げて、この構想を策定したものです。

構想策定にあたっては、西成地区総合計画なども踏まえて、今後の夜店通り周辺のまちづくりを進めていくための目標として、夜店通り周辺のゾーン整備構想が立案されました。エリアごとの課題を解消し、調和のとれたまちづくりを進めていくもので、「夜店通り活性化ゾーン」「コア整備ゾーン」「共同・協調型居住環境整備促進ゾーン」「地域資源活用ゾーン」「商店街活性化ゾーン」と5つのゾーンが設定されました。





そして、「にぎわいづくり」「住まいづくり」「みちづくり」の3つの視点から、住民の方々の話し合いによって「様々な出会いが生まれるにぎわいづくり」「下町の良さを活かしたつながり・交流づくり」「誰もが安心して住める住まいづくり」をまちづくりの目標とすることとしました。

まちづくりの目標は、“夜店通り周辺のにぎわいづくり”、“夜店通り周辺の住まいづくり”、“夜店通りの道づくり”の3つの視点から、住民の方々の意向をできるだけ反映したまちの将来像を話し合いによって決めました。

#### 夜店通り周辺のまちづくりの目標は

##### ①地域のつながりも含めた「にぎわいづくり」

###### ⇒ 様々な出会いが生まれるにぎわいづくり

様々なイベントを催し、夜店通りのにぎわいづくりを行い、その取り組みを通して、様々な人々との出会いの演出を目指す。

##### ②夜店通りの雰囲気を変える「みちづくり」

###### ⇒ 下町の良さを活かしたつながり・交流づくり

昔ながらの下町の良さを活かした、住民同士の助け合いによる暮らしのサービス、地域住民のつながり・交流づくりを目指す。

##### ③夜店通り周辺の住まいや暮らしをサポートする「すまい・くらしづくり」

###### ⇒ 誰もが安心して住める住まいづくり

ひとり暮らしの高齢者からファミリー世帯まで、様々な世代が安心して住み、暮らすことのできる、地域の住まいづくりを目指す。

